

KUNNDL

2013年6月発行

京都国連寄託図書館

News Letter No. 14
Summer 2013

Open: 月-金曜日 10:00-17:00 *土日祝日、年末年始、夏期休暇期間は閉館
〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 立命館大学衣笠キャンパス明学館1階
TEL: 075(465)8107 FAX: 075(465)8334

2013年は国際キヌア年

2013年は国連が定めた国際キヌア年です。

キヌアとは、アンデス地方で何千年もの間育てられてきた穀物で、適応性が高く気温が低くても育ちます。

私たちにはあまりなじみのない食料ですが、キヌアの栄養価が高いことや文化的な価値についての認識を高めるために国際年に制定されました。飢餓、栄養不良、貧困の根絶のために重要な役割を果たすことができると期待されています。

主な生産国は南米のボリビアやペルーなどです。

国連が2015年までの達成目標として掲げている8つの「国連ミレニアム開発目標(MDGs)」の中でも、貧困の削減が挙げられていますが、このキヌアが南米のMDGs達成に一役買ってくれるかもしれません。

* 国際キヌア年 web サイト <http://www.fao.org/quinoa-2013/home/en/>

* 国連ミレニアム開発目標(MDGs) <http://www.un.org/millenniumgoals/>

<http://www.unic.or.jp/mdg/> (日本語 /国連広報センターHP より)



* 国際キヌア年までの流れ

2011年6月 FAO(国連食糧農業機関)の総会で、ボリビアのモラレス大統領より提案される。

2011年12月 国連総会で「2013年を「国際キヌア年」とする」決議が採択される。(A/RES/66/221)

→アンデスの先住民族が長年にわたって自然との調和を保ちながら、キヌアを将来世代の食料として保存しようとした取り組みを認識しようとしたもの。「何千年も前に種をまかれた未来」がテーマ。

☆ FAO国際キヌア年エキスポ 2013

2013年5月に国連大学本部にて、「FAO国際キヌア年エキスポ2013」が開催されました。

(主催:ボリビア多民族国外務省/FAO日本事務所 など)

この中で、基調講演やキヌア栽培の事例紹介などが行われた他に、「日本におけるキヌアの可能性」というパネルディスカッションがあり、京都府立桂高等学校

キヌア研究班の生徒がキヌアの品種や日本におけるキヌア栽培の難点や提案などを発言する場面もありました。



* TICAD V (第5回アフリカ開発会議) 開催!

TICAD は、Tokyo International Conference on African Development (アフリカ開発会議) の略称で、アフリカの開発について話し合われる5年に1回の国際会議です。

初めて開催された1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行等と共同で開催しています。

これまでに4回の国際会議が開催され、今月6月1日~3日には第5回目のTICADが横浜にて開催され、テロ対策や治安対策への支援が表明されました。

* TICAD web サイト <http://www.ticad.net/> (日本語でも閲覧可能)

* イベントのお知らせ *

玉井誠子写真展

「ニジェールのおんなのこ」

(2013.6.12-7.2)

京都国連寄託図書館併設の立命館大学国際協力資料センターにて開催中です。アフリカのニジェールに暮らす女性たちの写真を展示しています。



国連寄託図書館とは・・・

"国連"のことを広くみなさんに知っていただくために、国連が世界に設置している図書館です。また、どなたでもご利用いただけます。

京都国連寄託図書館では、年四回ニュースレターを発行しています。送付をご希望の学校関係者の方は、下記までご連絡ください。なお、個人への直接送付は行っておりませんのでご了承ください。

発行：京都国連寄託図書館
〒603-8577
京都市北区等持院北町 56-1
立命館大学衣笠キャンパス明学館1階
TEL : 075(465)8107
FAX : 075(465)8334
URL :
<http://www.ritsumei.ac.jp/acd/in/cger/kunl/index.html>

Kyoto United Nations Depository Library
News Letter No. 14

* 国連機関紹介 11

<世界銀行：The World Bank>

<http://www.worldbank.org/>

(世銀東京事務所 HP(日本語)もあります)



世界銀行グループは、国際復興開発銀行(IBRD)、国際開発協会(IDA)、国際金融公社(IFC)、多数国間投資保証機関(MIGA)、投資紛争解決国際センター(ICSID)の5つの機関から構成されています。グループ共通の目標は、貧しい国々の経済を強化することで世界の貧困を削減し、人々の生活水準を改善することです。

このうちIBRDとIDAを総称して世界銀行と呼び、開発途上国を支援するための融資や技術的専門知識を提供しています。

(2012年7月現在、188か国が加盟)

世界最大の開発援助機関として、さまざまなプロジェクトに関与し、融資を通して開発途上国での学校の建設、電力の供給、環境の保全、他にもさまざまな活動を支援しています。

<世界銀行の主要資料 >

・『世界銀行年次報告(The World Bank Annual Report)』

・・・2011年まで日本語版・英語版ともに所蔵。2012年以降はPDF版。

・『世界開発報告(The World Development report: WDR)』

・・・英語版は2004年まで所蔵しています。

・データで見る世界銀行 (<http://data.worldbank.org/>)

・・・ここでは世界銀行の主要なデータを無料で公開しています。

(ex)世界開発指標(WDI)・世界開発報告(WDR) など